

天気に恵まれた 2018 秋の研修旅行

「身近な石・大谷石の故郷を訪ねる旅」

研修部 小寺正孝



私・小寺は、この春、飯嶋・安田両先輩理事と共に「研修旅行担当」に指名された、研修部の新米理事です。5月の理事会で「大谷石の故郷を訪ねる旅」が了承された時は、「秋の研修旅行なのにもう？」が正直な感想でした。6月に募集予告をしたせいでしょうか、7月の募集では、バス2台の予定が、たった1日でバス3台満杯の申し込みを受け、嬉しい悲鳴を上げてしまいました。9月にキャンセル待ち募集をしましたが、辞退される方がほとんどおられず、中にはしびれを切らした方もおられました。しかし、間近になると、電話の向こうでせき込みながら辞退される方などが続出し、7席もの空席が出てしまいました。残念！

準備に半年をかけた10月30日の校外研修当日は、それはそれはすばらしい秋の青空で、皆さん出発前から笑顔がこぼれていました。8時15分に千葉駅前通りを出発、穴川ICから外環道・東北道を通って宇都宮ICまでほぼ3時間の高速道路の旅でした。ICすぐ近くのお店でお腹いっぱい「宇都宮餃子尽くし」を堪能してから、大谷寺に向かいました。

大谷寺の内部は古代の横穴式住居を利用しており、本堂がすっぽりと洞窟に覆われている洞窟寺院です。御本尊は壁面に彫刻した高さ4mの像に赤い朱を塗り、粘土で細かな化粧を施し、漆を塗り、